

414  
A 125  
7

廿二日

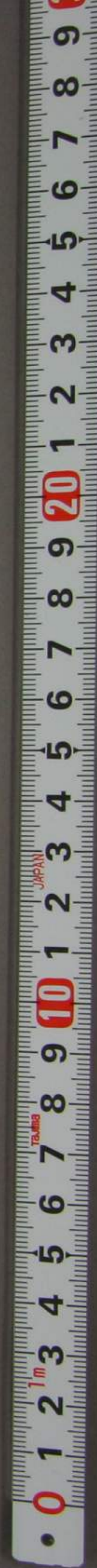


月十四日ヘラルド抄譯

三葉

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

人自ラ其必勝ヲ期シ伯靈ヲ陥レテ日耳曼人ヲ  
其版圖ニ帰セシムルヲ掌中ニ在リト為セシカ  
豈計ラニヤ其目算全ク反シ日耳曼人巴里ヲ圍  
ミ城中食竭キテ開城講和セリ初メ佛人自ラ能  
ク其カラ計ルナク知リタラニハ尚良策ニ出  
ツルノ道アリタラニ狂人自ラ頭ヲ以テ石壁ニ  
衝觸シ壁ニ無事ニシテ其頭ヲ碎クヲ知ラス獅  
子ノ馴ル者其怒ヲシテニサルニ万テハ一犬ノ



之ヲ制ス大國ヨリテ雖モ豈獅子ノ  
ナラヤコソ富ハ即チ羞ニテ財アレハ良器  
良兵直ニ購募スヘシ英國ノ兵七万ニ出テス其  
數他國ヨリ多カラス然レトモ萬國之ヲ懼ル是  
レ其富ヲ懼ルナリ良器勇兵ヲ得ルト富ニ在  
リト為セハ日本豈能ク支那ニ比スルイヲ得ン  
ヤ其蓄積支那ノ半ニモ満たス然シテ能ク之ニ  
對シテ兵ヲ出スヘケンヤ若シ兵ヲ出サニハ  
全國ノ歲入ヲ奉ケテ之ヲ出師ノ費用ニ供セサ  
ル可カラズ此ノ如クセハ國內必ス忽チ窮迫シ

テ乱ヲ生センノミ然ラハ則一敗復タ起キサル  
ヘキノミ支那ノ意ハ只日本人ヲ駈テ之ヲ臺灣  
ノ外ニ出タスニ在ルノミナレトモ勝ニ衆ニ敗兵  
ヲ追尾シテ直ニ其國ニ迫リ其人ヲ降シ兵器ヲ  
奪ヒ官吏ヲ置テ之ヲ統治セシメンハ普ノ佛ニ  
於ケルヨリ易キト幾倍ナルヲ知ラス  
臺灣土蕃ハ支那政府ニ貢ヲ納メズ其版圖ニ歸  
セサル者ナレハ此事ニ就キ支那ヲ煩ハサスト  
日本ニテ云フトモ是何ソ意ナルニ足ラシ之  
ヲ一富商ノ肆店ニ譬ルニ陳列スル所固ヨ

多クハ珍宝奇貨ナリ 雖モ其中亦必ス大贖  
ヲサルノニアルニ然リトモ店主豈之ヲ窃  
盜強賊ノ恣ニ奪掠シ去ルヲ許サンヤ又茲ニ廣  
大ノ地主アリ其地固ヨリ膏腴肥 然レモ其中  
亦確不毛ノ處アリ自ラ之ヲ開耕セストモ地  
主豈他人ノ妄ニ之ヲ占據スルヲ許サンヤ臺灣  
土人ハ全ク西墨利加中ノ土人ト相似テ別ニ官  
吏ノ之ヲ統治スルナシト雖モ固ヨリ支那版  
圖内ノ者ニシテ其許ヲ受ケサレハ他國ヨリ直  
ニ手ヲ下ス可カラズ日本人ハ此大法ヲ知ラサ

ルカ然ルニ土蕃ヲ討テ利ヲ得タルニ衆ニ其償  
ヲ支那ニ要ムルハ愚亦甚タシ支那豈此ノ如ク  
飢虎ニ餌ヲ與フルノ愚ニ至ラニヤ支那自其巨  
萬ノ財ヲ用ヒハ更ニ大ナル利益ヲ世間ニ起サ  
ンノミ豈徒ニ之ヲ日本ノ手ニ委セン三千人ノ  
兵數日ノ勞其費固ヨリ知ルヘキノミ償金ヲ日  
本ニ與フルハ 之ヲ乞食ニ與フルカ如シ今日此  
フレハ明日亦必ス來リ諸ハシノミ嚴ニ之ヲ叱  
シテ聽カサレハ其肩ヲ鞭撻シハシ則戰々遁去  
北ニノミト嗟乎自ラ計ル高ニ過クル者必ラ悔

マ  
ラ  
ン  
ト

原文此六ニ東京日々新聞ノ百六十七号論説  
一篇ヲ掲ケテ一雙ノ對文ト為セリ

譯

川本正六佐  
る